

- 1 実施日時 令和7年〇月〇日 (〇) 第〇時限 (〇:〇~〇:〇)
 2 実施学級 建築科第〇学年 〇名 (男子〇名、女子〇名)
 3 実施場所 建築科第〇学年ホームルーム教室
 4 使用教材等 実教出版 (工業 718 (建築施工))
 5 単元名 (3) 各種工事 ウ く体工事
 6 単元について

(1) 単元観

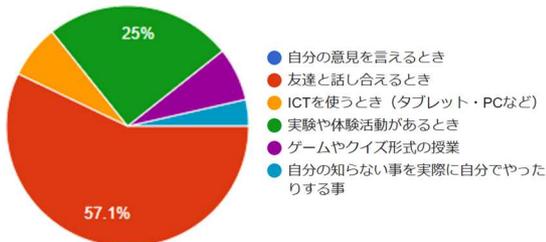
本単元は、高等学校学習指導要領 工業「建築施工」2内容(3)各種工事 ウ く体工事に位置付く内容であり、各種工事について、施工の安全性や合理性の視点で捉え、科学的な根拠に基づき工業生産に関連付けて考察し、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、建築物の施工ができるようにすることをねらいとしている。

ここでは、建築物の工事について工程や施工法を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けることや各種の工事について自ら学び、安全で安心な建築物の施工に主体的かつ協働的に取り組めるよう、学習活動を工夫する。本校の育成を目指す資質・能力の「【自律】豊かな社会の実現を目指す確かな知識と技術を身に付けた生徒」や「【貢献】自身の役割を認識しつつ、他者と協働して最善解を生み出すことができる生徒」の育成ができる単元である。

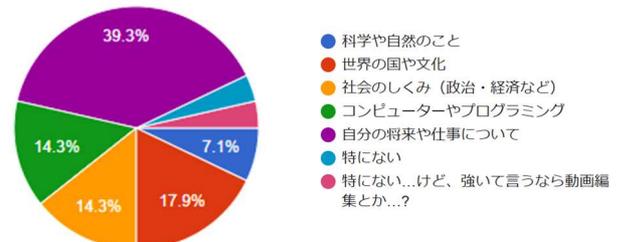
(2) 生徒観

本学級は、活発で陽気な生徒が約35%を占めている比較的に賑やかな学級である。残り65%の生徒は、黙々と学習に向き合っている印象であり、支援を必要とする生徒も在籍している。授業の問いや興味のある内容によっては、好反応を示してくれる印象もあるが、他授業の様子を調査すると、注意を払わないと私語や雑談が増え、教室が騒がしくなることがある。授業アンケートを実施したところ、次の結果が得られた。

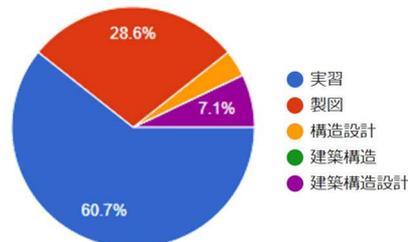
学校の授業で「楽しい」と感じるのはどんなときですか。



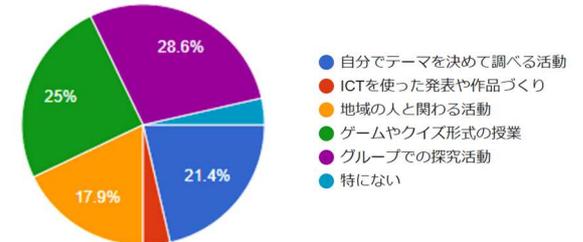
最近「もっと知りたい」と思ったことは何ですか。



建築に関する科目で、前向きに学習できている教科は何ですか。



「こんなことをやってみたい」という授業はありますか。

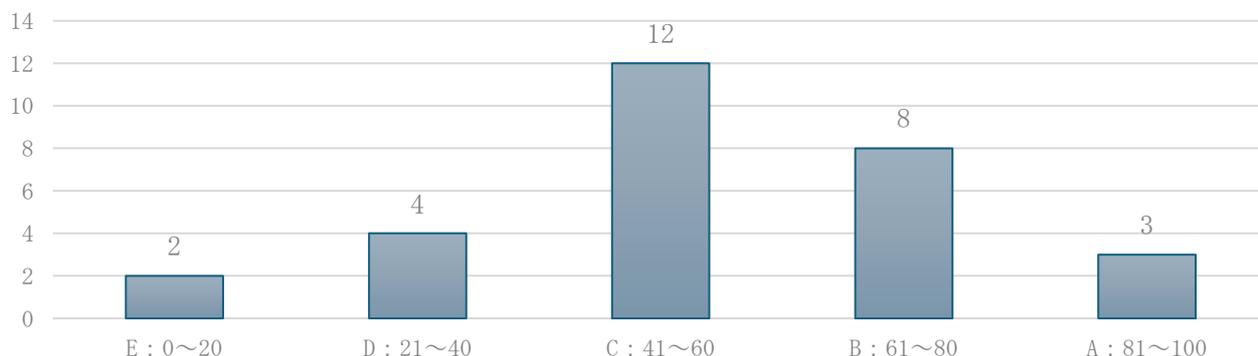


アンケート結果から、分析される生徒像として、「友達と話し合える学習活動のとき、授業を楽しんでいると感じることが多い」、「自分の将来や仕事について、もっと知りたいと考えている」、「建築に関する科目では、実習や製図等、体験的な活動に興味・関心が高い」、「グループ内での探究活動やゲームやクイズ形式の授業がしたいと考えている」ことが分かった。

1学期中間、期末考査の点数平均を集計すると、次のグラフ結果が得られており、40点以上の生徒が全体の中心を占めており、これらの生徒を軸に、授業の組み立てを行うと効果

的であると考えられる。

1学期中間考査、期末考査平均得点分布



(3) 指導観

生徒観及び単元観を踏まえて、本校の育成を目指す資質・能力の「【自律】豊かな社会の実現を目指す確かな知識と技術を身に付けた生徒」や「【貢献】自身の役割を認識しつつ、他者と協働して最善解を生み出すことができる生徒」の育成を意識した授業展開を要所で行うことが効果的であると考え。また、本校の研究テーマである「ICTを活用し、主体的・対話的で深い学びを促す授業」の実施も望ましいと考える。

さらに、個々の生徒の学力差を補う観点から、協働的な学習活動も効果的であると考え。具体的には、く体工事の工程や施工法を踏まえて理解させ、関連する職種への理解も深めていくことが重要である。これは、生徒観にある「自分の将来や仕事について、もっと知りたいと考えている」にも関連させることができる。

本学科は、カリキュラム・マネジメントを進める中で、座学と実習につながりをもたせるよう計画を立てている。単元後半には、科目「実習」で社会人を招いた特別授業において、く体工事に関する職種体験の実習も計画している。これにより、生徒が実践的な学びを通じて職業理解を深められる。本校の目指す資質・能力の育成に向けて、座学や実習とつながりをもたせながら、実践的・体験的な学習指導を行う。

7 単元の目標

- く体工事について工程や施工法を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。【知識及び技術】
- 建築物の施工の安全性や合理性に着目して、く体工事に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善できる。【思考力、判断力、表現力等】
- く体工事について自ら学び、安全で安心な建築物の施工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。【学びに向かう力、人間性等】

8 単元の観点別評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
く体工事について工程や施工法を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	建築物の施工の安全性や合理性に着目して、く体工事に関する課題を見いだすとともに、解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し、改善している。	く体工事について自ら学び、安全で安心な建築物の施工に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

9 単元指導計画

次	学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
		知	思	主		
1	型枠工事	○			○型枠工事に関する基礎的な知識と技術を身に付け、その工事の意義や役割を理解している。	ノート
2	鉄筋工事		○		○鉄筋工事に関する基礎的な知識と技術をもとに、その工事について思考するとともに、実際に活用する際に適切な判断ができる能力を身に付けている。	ワークシート
3	コンクリート工事			○	○コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、その工事の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用する態度を身に付けようとしている。	ワークシート
4	基礎	○			○基礎工事に関する基礎的な知識と技術を身に付け、その工法の意義や役割を理解している。	ノート
5	く体工事の流れ【本時】	○		○	○く体工事について工程や施工法を踏まえて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 ○く体工事について自ら学び、安全で安心な建築物の施工に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	小テスト Google フォーム

10 本時の目標

く体工事に関わる職種、工事内容について復習し、建築物の安全と安心について考える。

11 本時の観点別評価規準

知識・技術	主体的に学習に取り組む態度
く体工事について工程や施工法を踏まえて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	く体工事について自ら学び、安全で安心な建築物の施工に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

準備物 PC (教員、生徒)、プロジェクター、ノート、授業資料 (Google クラウド等)

12 学習の内容

時程	学習活動	指導上の留意事項 (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準 (観点) 【評価方法】
導入 15分	1 本時の内容を確認する。 2 小テスト (Google フォーム) に解答する。 3 小テストの振り返りを行い、めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> く体工事に関わる職種、工事内容について復習し、建築物の安全と安心について考えよう！ </div>	◆事前（前授業の終わり）に小テストを実施することを連絡する。 ・進捗状況等の確認のため、後方から机間指導等を行う。	く体工事について工程や施工法を踏まえて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 (知・技) 【小テスト】
展開 35分	4 動画（宮島工業高校建築科社会人を招いた特別授業）を視聴する。 5 ワーク① く体工事に関わる職種を選択し、配付されている Google スライドにまとめる。(個人活動) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 問い：〇〇職種の“やりがい”って何だろう。 </div>	・Google クラスルームから動画を視聴させる。 ・近日中に、く体工事体験が実施されることを再確認させる。 ◆工事内容を踏まえて考え、資料にまとめるように伝える。 ・適宜、机間指導を行う。	予想される生徒の回答例 「コンクリート圧送工は、く体工事を締めくくる、最後の工程なので、責任感のある職種だ」
展開 35分	6 ワーク①の共有を行う。(グループ活動) 7 ワーク② グループで協議し、Google スプレッドシートにまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 問い：この事件は、「どこで問題が起こったのか」「どうしたら防げたのか」 </div>	・選択した職種のどのような点にやりがいを感じるのかを共有するように指示する。 ◆班員で前向きな協議ができるように、声掛けを行う。	予想される生徒の回答例 「施工者の立場で工事中に気付くこともできた。安心安全な建築物に携わっているという自覚をもち、間違いを正そうとすることができれば、偽装建物を減らすことができたのではないか。」
終結 5分	9 振り返り・まとめ (Google フォーム) を行う。	・グループで一番に伝えたいことを整理して発表させる。 ・めあてを再提示し、自己評価及び授業の達成度を確認させる。 ・次回から仕上げ工事に関する学習を行うことを伝える。	く体工事について自ら学び、安全で安心な建築物の施工に主体的

			<p>かつ協働的に取り組もうとしている。 (主学態) 【Google フォーム (振り返りの記述)】</p>
--	--	--	--

13 本時の評価基準

	A	B	C
知識・技術	<p>く体工事に関する工程の流れや各施工法を体系的に理解し、学習内容を多面的に関連付けながら正確に説明でき、習得した技術を高度に活用している。</p>	<p>く体工事について工程や施工法を踏まえて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。</p>	<p>く体工事に関連する内容について理解していない。</p>
手立て	<p>「努力を要する」状況 (C) と判断した生徒に対する手立て ・单元内の授業ノートや Google クラスルームの資料を参考にするよう指示する。</p>		
主体的に学習に取り組む態度	<p>く体工事に関する学習において、自ら課題を見だし、必要な知識や技能を主体的に探究する姿勢が見られ、安全で安心な建築物の施工に向けて、学んだ内容を自分の学習や作業に積極的に生かそうとしている。</p>	<p>く体工事について自ら学び、安全で安心な建築物の施工に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	<p>く体工事について自ら学ぶことや主体的に学習に取り組めていない。</p>
手立て	<p>「努力を要する」状況 (C) と判断した生徒に対する手立て ・他生徒と積極的に意見交流をするように促し、班員の意見や考えを参考にさせる。</p>		